REC News Letter

Ryukoku Extension Center ニューズレター

You, Unlimited

龍谷大学 RYUKOKU UNIVERSITY

No. 83 発行日：2013年12月20日

ご報告 「プレゼン龍 2013」コンテスト結果発表！！ ～グランプリは文学部生の英語学習用アプリ！！～

12 月 14 日（土）、龍谷大学のビジネスプランコンテスト「プレゼン龍（ドラゴン）2013」を深草学舎 22 号館 301 教室で開催しました。13 回目となる本大会には 14 件のエントリーがあり、この日は書類審査と面接審査を勝ち抜いた 6 チームに加え、今回からの企画である敗者復活戦から進出した 1 チームの全 7 チームがグランプリの獲得をめざし、審査員や観戦者を前に真剣な表情でプレゼンテーションを行いました。

今回グランプリに輝いたのは、チーム「Fire Works」（代表：正親一宣・文学部 4 年）が提案した「Idol Teacher」。アイドルに英語を教えることで英語を学ぶ、英語学習アプリを開発・販売するという内容でした。グランプリ受賞に正親さんは「グランプリを獲得できたのはチームのこれまで支援してくださった方やこの会場の皆様のおかげ」と喜びを語りました。「Fire Works」は会場の一般審査員による投票で決まる「オーディエンス賞」にも選出され、ダブル受賞となりました。

準グランプリは、チーム「プラン B」（代表：藤本哲矢・国際文化学部 3 年）の「高齢者と若者のハウスシェアリング」が受賞。なお「プラン B」は、協賛企業の京都信用金庫から贈られる「京都信用金庫賞」とのダブル受賞となりました。

審査員の宮田陽一氏（新生化学工業株式会社代表取締役社長）は総括として、「7 チームは非常に良いプランだった。どんなことも諦めないことが大切。しんどいこともあると思うが、ぜひ起業を成功させてほしい」との言葉で締めくくられました。

「プレゼン龍 2013」の結果は WEB サイトをご覧ください。
http://www.ryukoku.ac.jp/news/detail.php?id=5509



グランプリ、オーディエンス賞受賞したチーム「Fire Works」



準グランプリを受賞した藤本哲矢さんのプレゼンテーション

ご報告 第 8 回高校生ビジネスアイデアコンテスト最優秀賞決定！！

第 8 回高校生ビジネスアイデアコンテストの最優秀賞を決定するプレゼンテーションが「プレゼン龍 2013」内で行われ、会場投票の結果、福島県立会津工業高等学校 1 年生の弓田快さんが提案した「外国人の名前を漢字で入れた伝統工芸品（流紋焼）の販売」が最優秀賞と今回新たに創設した審査員賞に選ばれ、ダブル受賞となりました。

このコンテストは、高校生にビジネスに関心を持ってもらおうと 2006 年からスタートし、今年度で第 8 回を数えます。年々、応募者数が増えており、今回は全国 24 校から 784 件ものアイデアが寄せられました。選考の上、優秀賞 5 件と入選 5 件、佳作 10 件を選出。優秀賞に選ばれた 4 人が大学生によるビジネスプランコンテスト「プレゼン龍」の会場で最優秀賞の獲得をめざし、プレゼンテーションに臨みました。

弓田さんの「外国人の名前を漢字で入れた伝統工芸品（流紋焼）の販売」は、地元会津の工芸品である流紋焼を、特に海外の方に知ってもらうために、海外の購入者の名前を漢字の当て字で流紋焼に書いて販売するというアイデア。

審査した野間圭介経営学部長は「高校生が実際に職人に会いに行き、実物を作ってもらうというところまでするのは非常に素晴らしい」と評しました。

「第 8 回ビジネスアイデアコンテスト」の結果は WEB サイトをご覧ください。
http://www.ryukoku.ac.jp/news/detail.php?id=5512



弓田さんのプレゼンテーションの様子



発表を終えた高校生の皆さん

ご報告　「第 10 回　同志社大学×龍谷大学ジョイントセミナー」を開催しました！


大槻眞一氏の基調講演の様子

龍谷大学は同志社大学と共に東大阪における産学連携の拠点である、MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）の産学連携オフィスに入居している縁から、毎年ジョイントセミナーを開催しています。第 10 回の節目を迎える今回は、"産学連携の未来"をテーマに、これからの産学連携をより一層推進していくための課題解決や方策を考えることにフォーカスをあて、セミナーを開催し、100 名を超える方々にご参加いただきました。

開会に寄せて、田口一江氏（経済産業省　近畿経済産業局　地域経済部　産業技術課　産学官連携推進室　室長）にご挨拶をいただいたあと、基調講演に大槻眞一氏（阪南大学前学長・名誉教授、関西産業活性協議会理事長）をお迎えし、「これからの産学連携」と題して、ご講演いただきました。産学連携事例紹介では、株式会社ユニックス代表取締役の苗村昭夫氏から、「大学との連携による自社商品の開発」と題して事例をご紹介いただきました。

また、シーズ紹介では、同志社大学理工学部電子工学科の吉門進三教授より「遊星ボールミルによる食品等の乾式粉砕」、龍谷大学理工学部物質化学科の富﨑欣也教授より「ペプチド集合体を鋳型とする鉱物化反応の開発」が紹介されました。参加者は講演を興味深く聴き入り、予定終了時刻をオーバーするなど活発な質疑応答が行われました。

イベントの締めくくりの交流懇親会では、講演者も含めた全体での交流会となり、名刺交換や講演内容に関する質問など参加者が交流を深める場となりました。





左：同志社大学
吉門進三教授
右：龍谷大学
富﨑欣也教授


会場の様子

ご報告　「福祉フォーラム 2013」を開催しました！

11 月 30 日（土）、 龍谷大学アバンティ響都ホールにて、「福祉フォーラム 2013」を開催しました。

「家族の役割・家族のこれから～家族介護・扶養の限界と展望～」をテーマにした講演会では、鷲田清一氏（大谷大学教授、元大阪大学総長）が講演を行い、後半は、荒田寛・本学社会学部教授の進行のもと、家族ケア当事者の方々（新保博氏、野地芳雄氏、町田俊子氏）を招いた「当事者家族によるシンポジウム」を開催しました。

当日は臨時の託児所をホール内の別室に設けるなど、お子様連れでも受講しやすいように配慮し、学内外からは約 230 名が会場に詰めかけ、盛況のうちに終了しました。



シンポジウムの様子

お知らせ　1 月の REC の活動

1 月　11 日（土）　龍谷ジュニアキャンパス「ラグビー教室」
1 月　15 日（水）　第 25 回龍谷大学「新春技術講演会」　－自然界のよき隣人たれ－

◇◇　深草町家キャンパス利用申込受付中！！　◇◇
URL：http://www.ryukoku.ac.jp/fukakusamachiya/

龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

REC News Letter
No.83
REC News Letter は毎月発行。
次回は 1 月 25 日頃発行します。
※バックナンバーは龍谷大学 HP→教職員向けサイト
→REC　京都サイトをご覧ください。

編集：REC 事務部
http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/

●REC 滋賀　REC ホール　（内線 7279）
●REC 京都　紫光館 5 階　（内線 6505）
●REC 東大阪　クリエイション・コア東大阪
産学連携ｵﾌｨｽ 2212 号（06-6748-8228）